

就労移行支援・就労継続支援A・B型に係る  
在宅サービス提供の届出書(記入例)

令和 5 年 4 月 1 日

吹田市長 宛て

事業所番号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
所在地	吹田市泉町1-3-40									
事業所名	〇〇〇〇事業所									
代表者名	□□ □□									
作成者名	△△ △△									
連絡先	06-××××-××××									

下記のとおり在宅サービス提供について届出します。

記

受給者証番号 <small>※新規申請時は記載不要</small>	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	利用者氏名	吹田 太郎	
											生年月日	S63	年 4 月 1 日
サービス種類	<input checked="" type="checkbox"/> 就労移行支援			<input type="checkbox"/> 就労継続支援A型			<input type="checkbox"/> 就労継続支援B型						
現在の 支給決定期間 <small>※新規申請時は記載不要</small>	令和 4 年 5 月 1 日						～	令和 5 年 4 月 30 日					
在宅でのサービス 提供を希望とする 理由	<p>利用者は令和4年3月に電車内でパニック障がいを発症し、それ以降、人混みに対する恐怖心が強く、電車やバスでの移動が困難な状態です。また、利用者の自宅の近隣には、本人が望む支援内容の事業所がなく、事業所の変更も出来ません。</p> <p>利用者は、元々、本事業所でIT関係の技術を学んでおり、在宅でも十分な支援を受けられることから、在宅でのサービス利用を希望します。なお、病状の改善が見られた場合は、通所と在宅の併用利用を希望します。</p>												
作業活動 訓練内容	動画の編集やプログラミング技術を学ぶ。(〇〇〇ソフトや×××を利用予定)												
作業活動 訓練内容で 得られる効果	<p>通所時と比べて、心理的な不調を受けにくく、安定して訓練に取り組むことが出来る。</p> <p>これまで学んできた動画の編集やプログラミング技術の理解を深め、これから職務に近い実践的な内容にも取り組むことで、就職に繋がられる可能性は高いと思います。具体的には、初めは事業所内で依頼した仕事に取り組んでもらい、その後、在宅インターン実習等を経て、在宅での就職に繋がっていきたいと考えています。</p>												
連絡方法及び 時間帯 ※1	1日3回(10時、13時、16時)電話にて連絡。健康状態や作業の進捗状況、成果の確認を行う。					緊急時の 対応方法			開所時間内については常時5名の職員が事業所に出勤し、対応する。 また、在宅対応職員の電話にも転送し、電話対応を行う。				
在宅時の 支援体制 ※2	開所時間内については常時5名の職員が事業所に出勤し、対応する。 また、在宅対応職員の電話にも転送し、電話対応を行う。					評価方法と頻度 ※3			毎週金曜日にZOOMで、面談及び評価を行う。				
面接方法と時期 ※4	毎月下旬に職員が利用者宅を訪問し、面接による評価を行う。					提出物 ※5			<input type="checkbox"/> アセスメントシート等の利用者の状況が分かるもの <input type="checkbox"/> 個別支援計画書(新規申請の場合は作成後、提出)				

- ※1. 1日2回の連絡、助言又は進捗状況の確認、日報作成を行うこと。作業活動、訓練等の内容等に応じ、1日2回を超えた対応を行うこと。
- ※2. 疑義照会等に対し、随時、訪問や連絡等による必要な支援が提供できる体制を確保すること。
- ※3. 事業所職員による訪問、利用者の通所又は電話・パソコン等のICT機器の活用により、評価等を1週間につき1回は行うこと。
- ※4. 原則として、月の利用日数のうち1日は事業所職員による訪問又は利用者による通所により、事業所内において訓練目標に対する達成度の評価等を行うこと。☑
- ※5. 必要に応じて、日報の提出を求める場合があります。提出を求められた際、速やかに提出が出来るよう、ご準備をお願いいたします。

<利用者確認欄>

上記内容について説明を受け、同意します。

署名

